

平成30年第1回(3月)上越市議会定例会

総務常任委員協議会資料

「ご当地ナンバー」の導入について

・・・ 1～4ページ

企画政策部

「ご当地ナンバー」の導入について

1 導入検討の背景

新たな地域名を自動車のナンバープレートに表示する、いわゆる「ご当地ナンバー」については、国が平成16年と25年の2回に亘り、地域振興や観光振興等の観点から自治体に対して募集を行い、これまでに全国の29地域で導入が行われている。

平成29年5月に、既存ナンバーの「地方版図柄入りナンバープレート」の導入地域の募集開始と併せて、第3弾となる「ご当地ナンバー」の募集を行うことが発表された。

2 ご当地ナンバーの導入要件（第3弾）

(1) 地域名表示の単位

次のいずれかに該当すること

- ア 対象地域内の登録自動車(軽自動車は除く)の数が10万台を超えていること。
- イ 複数の市区町村を含む地域を対象地域とするものであって、当該対象地域内の登録自動車の数が概ね5万台を超えているとともに、当該地域を呼称する名称が国内外において、相当程度の知名度を有していること(世界遺産所在地、観光著名地等)。

【上越地域3市の登録自動車台数(平成29年3月31日現在)】

| 自治体 | 自家用 | 事業用 | 合計 | 割合 |
|-------------------------|---------|-------|---------|--------|
| 上越市 | 79,413 | 3,194 | 82,607 | 72.9% |
| 妙高市 | 13,067 | 245 | 13,312 | 11.7% |
| 糸魚川市 | 16,866 | 573 | 17,439 | 15.4% |
| 3市計 | 109,346 | 4,012 | 113,358 | 100.0% |
| <参考>長岡ナンバーの自治体(10市3町1村) | | | 369,014 | - |
| <参考>新潟ナンバーの自治体(10市3町3村) | | | 600,970 | - |

(2) 地域名の基準

次に掲げる要件をすべて満たすもの

- ア 行政区域や国名などの地理的名称であり、当該地域を表すものとしてふさわしい名称であること。
- イ 読みやすく、覚えやすいものであるとともに、既存の地域名と類似し混同を起すものでないこと。
- ウ ナンバープレートに表示された際に十分視認性が確保されるよう、原則として「漢字」とし、文字数は「2文字」までであること。やむを得ない場合であっても「漢字」又は「平仮名」とし、文字数は最大で「4文字」までであること。

(3) 図柄入りナンバープレートの導入

地域名表示の追加(新たなご当地ナンバーの導入)に当たっては、図柄入りナンバープレートを導入すること。 自動車ユーザーは図柄の有無を選択可能

3 新潟県の実施状況

新潟県においては、既存の「新潟」ナンバーと「長岡」ナンバーにおける図柄の導入に向けて、平成 29 年 6 月からデザイン案の公募に取り組み、県民投票と有識者による審査・選考等を経て、12 月に図柄を決定。

最終的に新潟ナンバーは「トキと萬代橋」、長岡ナンバーは「花火」の図柄となり、それぞれ平成 30 年 10 月以降、希望者に対して図柄入りナンバーが交付される予定。

4 上越地域の実施状況

(1) 県と 3 市との連携

国や県の動きを踏まえて、新潟県上越地域振興局及び糸魚川地域振興局の 2 局並びに、上越市、妙高市及び糸魚川市の 3 市において、地域振興並びに観光振興等と地域の一体感の醸成を図ることを目的に、ご当地ナンバーの導入に向けて取り組むことを確認し、10 月に『上越地域ご当地ナンバー導入検討会（代表：上越地域振興局 古田企画振興部長）』以下「検討会」を組織。

併せて、有識者や団体からの意見を反映するため、この検討会を事務局とした、学識経験者や 3 市の商工団体及び観光団体、交通事業者等 9 人で構成する『上越地域ご当地ナンバー導入検討委員会（会長：上越教育大学 梅野副学長）』以下「検討委員会」を設置し、10 月以降、4 回の会議を開催する中で、ご当地ナンバーの名称案や図柄の選考方法、地域住民への意向確認手法等について協議を実施。

【検討委員会 委員名簿】

| 区分 | 所属 | 役職・氏名 |
|---------|-------------------|------------|
| 学識経験者 | 上越教育大学 | 副学長 梅野 正信 |
| | 新潟県立看護大学 | 副学長 長谷川雅美 |
| 商工団体関係者 | 上越商工会議所 | 専務理事 東條 邦俊 |
| | 糸魚川商工会議所 | 専務理事 田鹿 茂樹 |
| | 新井商工会議所 | 専務理事 池田 弘 |
| 観光団体関係者 | 上越観光コンベンション協会 | 常務理事 片岡 明 |
| | 糸魚川市観光協会 | 副会長 龍見 和弦 |
| | 妙高観光推進協議会 | 会長 丸山 善宏 |
| 交通事業者 | 頸城自動車(株) | 副社長 野本 宏之 |
| オブザーバー | 国土交通省 北陸信越運輸局 管理課 | 課長 大貫登志雄 |
| | 新潟県 交通政策局 交通政策課 | 課長 齋藤 光雄 |

【検討委員会の開催経緯】

| 回数 | 開催日 | 場所 | 内容 |
|-------|-------------------|---------|------------------|
| 第 1 回 | 平成 29 年 10 月 23 日 | 市民プラザ | 経緯説明、今後の審議事項について |
| 第 2 回 | 平成 29 年 11 月 22 日 | オーレンプラザ | 名称について、図柄の選定について |
| 第 3 回 | 平成 30 年 1 月 23 日 | 上越文化会館 | 名称について、アンケートについて |
| 第 4 回 | 平成 30 年 2 月 22 日 | オーレンプラザ | 名称について |

(2) 検討委員会の協議・取組の経緯

ご当地ナンバーの名称について議論を重ねる中で、平成30年1月23日の第3回検討委員会において、名称は「上越」が適当とすることを仮決定。

その後、3市の住民2,000人と事業所300社に対するアンケート調査を、1月下旬から2月上旬に実施。アンケート結果については、「上越」ナンバーの導入に対し、地域住民においては65%、事業所においては73%の賛成。

アンケート結果を踏まえ、2月22日の第4回検討委員会において、ご当地ナンバーの名称は『上越』が適当とすることが本決定され、2月23日に3市長宛に文書報告があった。

【 住民向けアンケート調査の実施結果について】

- (1)実施時期 ... 平成30年1月26日(金)～2月8日(木)
- (2)回答者 ... 1,873人
- (3)実施手法 ... 各市において、交通安全協会内におけるアンケートの配布やショッピングセンター等における聞き取り調査により実施
- (4)質問項目 ... 年代、居住地、「上越」ナンバーの導入の賛否

| 居住地 | 有効 回答数 | 「上越」ナンバー導入に対する賛否 | | |
|------|-----------|------------------|-----------|-----------|
| | | 賛成 | 反対 | どちらでもよい |
| 上越市 | 1,260 | 895(71.0) | 103(8.2) | 262(20.8) |
| 糸魚川市 | 339 | 191(56.3) | 43(12.7) | 105(31.0) |
| 妙高市 | 274 | 140(51.1) | 37(13.5) | 97(35.4) |
| 全 体 | 1,873 | 1,226(65.4) | 183(9.8) | 464(24.8) |

【 事業所向けアンケートの実施結果について】

- (1)実施時期 ... 平成30年1月26日(金)～2月8日(木)
- (2)回答先 ... 269社
- (3)実施手法 ... 3市の商工会議所及び商工会の会員から任意抽出した事業所に対して、アンケート用紙を配布
- (4)質問項目 ... 所在地、「上越」ナンバーの導入の賛否

| 所在地 | 回答数 | 「上越」ナンバー導入に対する賛否 | | |
|------|-----|------------------|----------|----------|
| | | 賛成 | 反対 | どちらでもよい |
| 上越市 | 192 | 155(80.7) | 11(5.7) | 26(13.6) |
| 糸魚川市 | 43 | 21(48.8) | 10(23.3) | 12(27.9) |
| 妙高市 | 34 | 21(61.8) | 3(8.8) | 10(29.4) |
| 全 体 | 269 | 197(73.2) | 24(8.9) | 48(17.9) |

5 当市の方針と今後のスケジュール(予定)

(1) 名称について

検討委員会での議論やアンケート結果を踏まえ、当市として『上越』ナンバーを導入する方針を決定した。なお、妙高市と糸魚川市においても同様の方針を決定。

新たなご当地ナンバーの導入については、導入地域の市町村が、まずは「名称」について平成30年3月末までに都道府県を經由して国に申請する必要がある、新潟県の申請期限は3月9日(金)のため、同日までに3市長の連名により、正式に申請を行うこととする。

(2) 図柄について

図柄のデザイン(案)についても、検討委員会において選定作業を行うことを計画しており、その結果を踏まえ、各市で方針決定を行い、国の報告期限である平成30年12月末までに申請を行う。(以下のスケジュールを予定)

3市の資源を組み合わせた「図柄案」について、地域住民や事業所、学校などを対象とするデザインコンペの実施 <5月上旬~6月下旬>

検討委員会とデザイン関係者による一次選考の実施 <7月>

3市住民による住民投票(二次選考)により、デザイン案を決定 <9月>
デザイン案について、3市が都道府県を經由して国に申請 <11月>

交付時期：平成32年度内に新たなナンバープレートが交付される予定。

6 その他

現在、県内では南魚沼市を中心に「雪国魚沼」ナンバーの導入協議が、県外では「知床(北海道)」、「渡良瀬(栃木・群馬)」、「松戸、市原(千葉)」、「江東(東京)」、「伊勢志摩(三重)」、「出雲(島根)」等のご当地ナンバー導入の検討が進行。